

K G U 関東学院大学 経営学部

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

COLLEGE of BUSINESS ADMINISTRATION

横浜・関内キャンパス 〒231-0031 神奈川県横浜市中区万代町1-1-1

受験生サイト



経営学部
トップページ



JR・横浜市営地下鉄
「関内駅」より徒歩2分



関東学院大学 経営学部 サポートーズ・ネットワーク

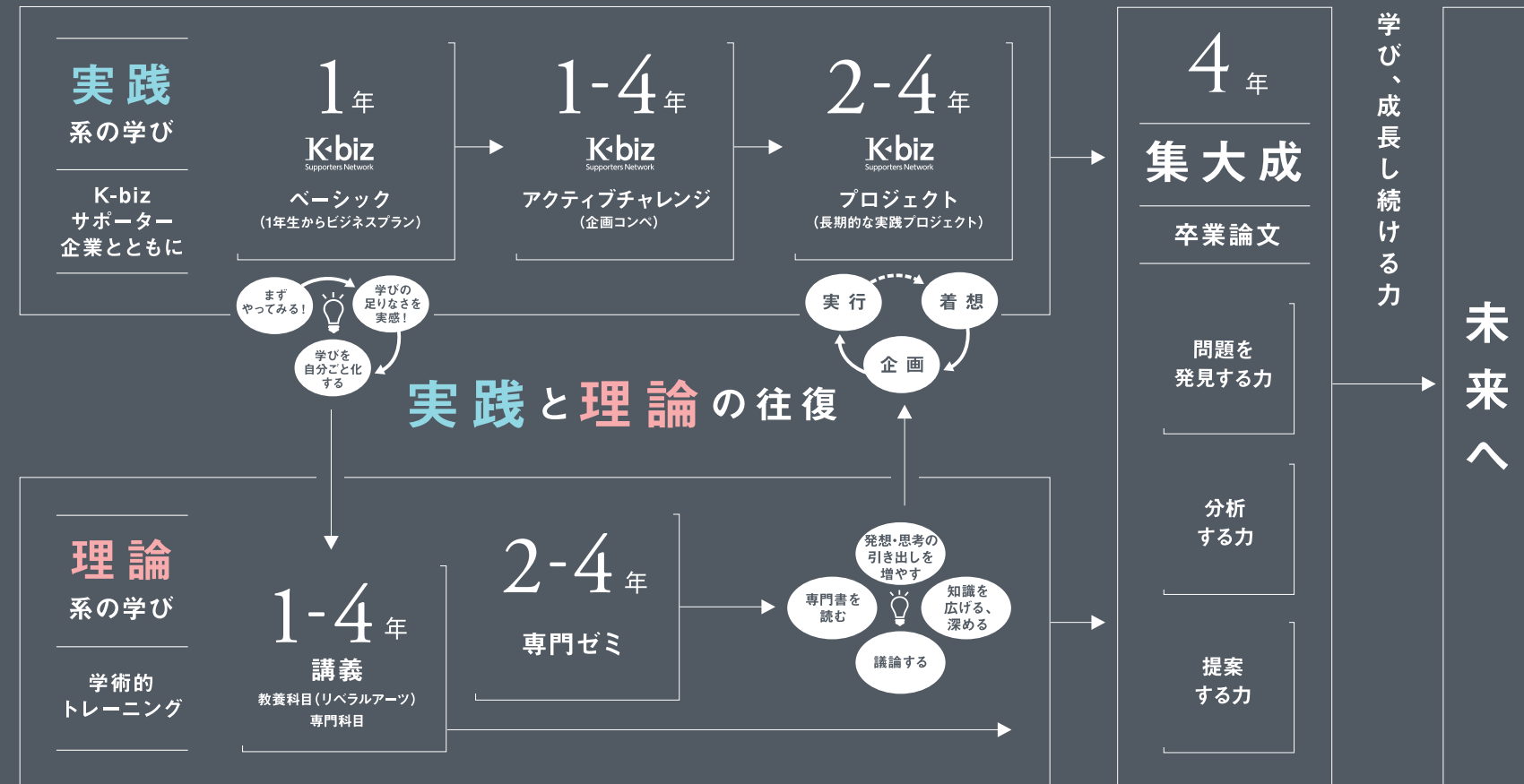
K G U 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



4年間の学びのプロセス

プロジェクト学習を通じた実践と理論の往復で学びの力自体を鍛える。

常に学び続けることが求められる時代、「新しいこと」や「変化」を楽しめる人になろう！



経営学とは

経営学とは組織や会社経営の「やり方」について研究する学問。その領域は、会社全体のマネジメント、商品のマネジメント、人のマネジメント、お金のマネジメントなど多岐に渡ります。「人」の活動に着目するのが経済学との大きな違いです。

Message

失敗を恐れず
チャレンジしてみよう。

関東学院大学 経営学部長 渡辺 竜介

本学経営学部の特徴の一つとして、1年生全員が春学期にビジネスプラン作成の基礎を学び、秋学期にはK-bizサポーター企業から提示された課題に対するプランを作成・提案を行うカリキュラムが挙げられます。

プランを作成してみる、やってみるということには、2つの意味があります。

1つは、実践的な経験を通して、知識の定着を図るということです。もう1つは、やってみたことの結果から、より深く広い専門知識の必要性に気付いてほしいということ、そこから主体的な学びに結び付けてもらいたいということです。

この「やってみる場」として、正規の授業以外にも誰もが参加できるK-bizアクティブチャレンジというビジネスプランのコンペも行っています。

経営学部の学生には、失敗を恐れずに積極的にチャレンジしてほしいと思います。やってみて「成功した」「失敗した」という経験が、皆さんのさらなる成長につながるものと期待しています。



会計人材育成プログラム

—高度な職業会計人材の育成—

会計人とは、会計分野の専門的な知識とスキルを身につけた会計の専門家です。

このプログラムでは、税理士、公認会計士などの職業会計人をを目指す人のサポート、簿記検定試験などの合格サポート、会計の知識を生かせる経営管理者や銀行などの金融機関への就職など会計の知識を身につけて企業を中心としたビジネス社会で活躍できる人材を育成することを目的としています。

プログラムの特色

1年次から簿記会計科目を集中して履修することができます。

1 資格取得をサポートする科目を配置

1年次から簿記会計科目を集中して履修することができます。

2 提携のオンライン課外講座の活用

経営学部が提携するオンライン課外講座を特別料金で受講できます。入学前からの受講も可能です。

3 「会計スタディ・ルーム」でのサポート

1年次か授業の合間の時間を活用して、学習相談や試験対策を行います。

税理士とは

税の専門家として、企業や個人事業主などの納税者に代わって、所得や納税額を算出して税務署などへの申告書を作成します。その中で、事業活動の会計帳簿への記帳代行、財務諸表の作成や、経営活動全般に関する中小企業経営者の相談にのったりします。

公認会計士とは

会計・監査のスペシャリストとして、企業をはじめとしたさまざまな法人の財務諸表の信頼性を担保するために監査業務を行います。経営戦略・企業再生などの助言、立案といったコンサルティング業務、税理士登録を行うことにより税務業務を行うこともあります。

Message

経営学部 2024年度卒業
本学経済学研究科 1年次

後藤 優佳

通学のしやすさに加え、資格取得や課外活動に集中できる環境に魅力を感じて進学しました。1年次の簿記の授業を通じて会計の面白さを知り、教員の姿に憧れて税理士を志すようになりました。会計人材育成プログラムでは簿記や財務、税務などを段階的に学び、実践的なスキルを習得しました。現在は大学院で租税についての理解を深めながら、資格取得に向けて日々取り組んでいます。



K-bizベーシック1・2

横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ ×株式会社KADOKAWA

1年次から必修の授業(K-bizベーシック1・2)でビジネスプランに挑戦します。春学期(K-bizベーシック1)は、経営、商学、会計、情報の4分野の基礎知識を学びながら、個人が飲食店のビジネスプランを立案します。秋学期(K-bizベーシック2)は、サポーター企業から出題されたテーマについてチームで企画立案に取り組みます。その中で、「儲ける仕組みはどのように作るのか」「利益はどのように計算するのか」など現実的な問題に直面します。こうした経験を早い時期にすることで、学生は学ばなければならないことを自ら発見し、主体的に学習に取り組めるようになります。

24年度は横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ、株式会社KADOKAWAから課された「宴会場を活用したビジネスプランの検討」に取り組みました。学生は、従来の宴会場の利用の枠を超えたプランや、シティホテルのなかの宴会場という空間を自由に活用したビジネスプランなど色々なアイデアを検討し、自分たちのプランを提案しました。



Message

実践で学んだ経験を力に、
企業経営を支える存在になりたい。

経営学部 2年次 三井 彩那

実践的な学びに惹かれて経営学部を志望しました。POSシステムに関心を持ち、マーケティングや経営戦略、会計など幅広く学んでいます。K-bizでは横浜ベイシェラトンホテル&タワーズの企画に挑戦し、資料作成やグループでの意見交換を通じて実践力を高めました。目的設定の難しさや現実的な制約に直面しながらも、やりがいを感じる経験ができました。将来は簿記や会計の知識を活かし、企業経営を支える存在になりたいと考えています。今後も資格取得や学外活動にも積極的に取り組み、自分の可能性をさらに広げていきたいです。



2年

理論を学ぶ授業

1年次のK-bizベーシック1・2でビジネスプランにチャレンジした後、2年次からは、具体的な理論を学びます。実践で得られた経験に理論の学びを加え、3、4年次への力を蓄えます。



管理会計

管理会計は、企業の日常の経営状態を把握し、経営の方向性を決定するために、予算管理・原価管理・業績評価・経営意思決定の支援について学びます。大学では、専門知識だけでなく、多くの教養を身につけて欲しいと思います。社会には、未知の複雑な課題がたくさんあります。その解決には、専門知識だけでは糸口が見えないこともあります。その際に、教養の知識が多くあれば、異なったモノの見方や切り口が増え、問題を解決するための手がかりや発想が増えることになると思います。



Message

経営学部 経営学科 教授 **江頭 幸代**

管理会計の授業では、「企業経営をする上で何をすればいいのか」を強く意識でき、経営感覚を身につけることができます。さらに、次の目標を立てる分析力や問題解決力も身につけることができます。



国際マーケティング

国際マーケティングの授業では、グローバル企業の具体例を挙げて理論と実践を深く学びます。学生には「自主性」と「主体性」を持ち、自ら考え積極的に行動することを強く期待しています。変化の激しい現代社会で活躍できる力を養うため、大学生活は貴重な成長の場です。高校生にはスマホから離れ、本を読む習慣をつけて、自分の未来を切り拓く力をしっかり身につけてほしいと願っています。これからの社会で必要なスキルを大学でしっかり磨いてください。



Message

経営学部 経営学科 教授 **唐沢 龍也**

国際マーケティング1・2では、基本理論や専門用語を学びながら、国境を越えた企業のマーケティング活動と消費者行動の関係性や形成メカニズムを具体的事例を通して深く理解します。



サービス経営

「サービス経営」を専門とし、目に見えない無形のプロダクトをいかに企業が顧客に提供していくかを研究しています。講義では、サービスの特性や理論をペアワークやグループワークを交えて学び、実践事例を理論的に説明できる力を養います。特に1年次から実践的に学ぶK-bizと連動し、理論と現場の往復で理解を深める学びが魅力です。教員も成長の壁として学生に乗り越えてもらう存在でいたいと思います。まずはオープンキャンパスで本学の実践的な学びを体感してください。



Message

経営学部 経営学科 准教授 **奈良 堂史**

サービス経営の授業では、目に見えないサービスの価値創造を理論と実践で学びます。主体的に考え、先進企業の事例を深く理解しながら、自分の成長を実感できる環境です。





Kbiz
Supporters Network

3 年

K-bizアクティブチャレンジ

神奈川トヨタ自動車株式会社

K-bizアクティブチャレンジは、実践的な経営感覚を養うことを目標とした学年を問わず参加ができるコンペティションです。学生が個人あるいはチームで参加して企画提案をまとめ、その優劣を競い合います。課題は、サポーター企業からその企業の現状(経営に関わる状況や抱える課題)に絡めた実践的なテーマで設定されます。最終報告会では、学生自らが出題をした企業の前でプレゼンをし、企画・提案に直接コメントやアドバイスを頂く機会があります。そうした経験を通じて、現場の視点に立って発想することを学びます。テーマによっては、他学部の学生も参加をすることができるため、別の専門的な学びを経て、提案されるプランから新たな学びを得る機会にもなります。

24年度は神奈川トヨタ自動車株式会社から課された「「歩く」をアシストする次世代モビリティであるC+walk Tの普及」に取り組みました。学生は体験試乗会に参加し、実際の使用感を理解し、多角的な視点で企画提案をしました。



Message

将来は、人の気持ちを動かすアイデアを生み出せる人になりたい。

経営学部 4年次 **八木 杏理**

高校で学んだマーケティングをもっと深く学びたいと思い、経営学部を選びました。神奈川トヨタ自動車株式会社の企画では、チームで協力しながらアイデアを練り、限られた時間でプレゼンテーションをまとめる難しさを実感しました。その甲斐もあり、企業の方に自分たちの企画が届いた時は大きな達成感を味わいました。国際マーケティングや消費者行動など幅広く学べたことで視野が広がり、将来は誰かの心に届くような、人の気持ちを動かすアイデアを生み出せる人になりたいと考えています。

4年 4年生、学びの集大成



Q&A

経営学部 4年次 笹田 明花
神奈川県立旭高等学校 卒業K·biz
Supporters Network

本学の経営学部を選んだ理由は何でしたか？

最大の決め手は、**K-bizの存在**です。**理論を学ぶだけでなく具体的な企画にする機会**がある点、4年間を通じて様々な**コンペやプロジェクトに挑戦**できる点に魅力を感じました。

K·biz
Supporters Network経営学部での学びを通じて成長を感じたのは
どんなときでしたか？

1年次の企画では特別賞をいただいたものの、**アイデアの浅さを痛感**しました。2～3年次には講義で**理論的なフレームワークや人の心理・行動原理**を学び、専門ゼミでは**専門書の読解と並行して発想法**にも取り組みました。その後、企画コンペで「次世代モビリティの普及」という難しいテーマに挑んだ際、以前より自然に発想が深まっていることに気づき、「**理論を学べば発想の引き出しが増える**」ことを体感しました。

K·biz
Supporters Networkプロジェクト学習で特によかったと
思うことは何ですか？

1年次に入賞した経験が「**もっと上を目指せる**」という**モチベーション**になって、その後2年次に学部長賞、3年次には最優秀賞を受賞できたのは本当に嬉しかったです。それ以上に、企画に取り組むたびに**発想力や思考力が成長しているのを実感**できたことが大きな収穫です。

K·biz
Supporters Networkプロジェクト学習で苦勞したこと、
大変だったことはありますか？

一番苦勞したのは、企画の問題点を詰めていく作業です。**負けず嫌いな性格**もあって、自分にしかできない企画にしたいと**納得のいくレベルまで細部を検討し、修正を重ねました。その粘りが結果につながった**と感じています。

K·biz
Supporters Network4年間の経験の中で、将来につながると
感じていることは何でしょうか？

K-bizで培った「**動きながら考える**」姿勢や「**チームで取り組む**」経験は、社会に出てからも強みになると思います。企画コンペでは、与えられたテーマの中から**本質的な課題を自ら見つけ出す力**が求められます。たとえばシニアをターゲットにした企画なら、その生活現場を観察して生の声を聴くことで得られる気づきがあると感じました。また、チームでアイデアを練り上げていく過程には難しさもありますが、手応えを得られました。現在は「流行はなぜリバイバルするのか」というテーマで卒論を執筆中です。将来は、自分が携わった企画や商品を多くの人に届けられるような仕事をしたいと思っています。